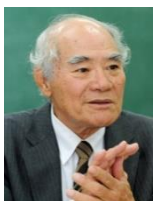


積小為大 (せきしょうだい)

～一人一人を大切に、共に成長していく一年にしよう～

道徳や総合的な学習の時間に、平和学習を進めています

6月24日(金)～6月27日(月)の間で行った道徳で、「沖縄戦を体験した神里(かみさと)さん」の話を題材にした授業を行いました。神里さんが中学生に戦争の体験を語る様子を動画で視聴し、自分たちの生き方を考えていきました。



琉球新報より引用



熊野町教育委員会 教育長の HP より引用

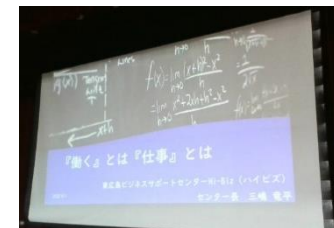
道徳で「沖縄戦」を学習した後に、総合的な学習の時間の「地域調べ」の学習で「戦争と平和」をテーマにし、戦争についてより深い学習をしました。沖縄平和記念資料館から資料や写真を送っていただき、その内容から、生徒自身でテーマを決めて、学習を深めていきます。一つの教科で学習を終えるのではなく、他の教科と関連付けながら学習を進めていきたいと思います。



起業の専門家「Hi-Biz」さんに「働くとは」を教えてくださいました

今年度の職場体験は、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止になりました。しかし、今年度は、「Hi-Biz」さんに、「働くとは」ということを学び、2年生で事業を起こし、実際に1年生に体験してもらう「起業」活動を行う予定をしています。

「Hi-Biz」さんの講話では、「起業のために必要なことは？」を中心に講話していただきました。人が抱えている「ニーズ」を正確に把握し、どのような事業を興したらよいかを丁寧に教えていただきました。



「疑似」職場体験に向けて着々と準備が整ってきました

実際に起業するなら、どのようなことが必要なのか、どんな人をターゲットにするのかなど、各グループで話し合い、具体的なことを考えていきました。その上で、実際に1年生をターゲットにした事業を考え、疑似職場体験を行います。



この学年通信の写真の一部は、熊野町の HP に「教育長のページ」があり、そのページより引用しています。『「幸せな生き方って何だろう」を考える道徳科授業』として6月27日(月)の授業の様子が掲載されています。是非一度御覧ください。